

慢性腎臓病の 教育入院の

ご紹介

慢性腎臓病とは・・・

慢性腎臓病は、腎臓の機能が低下した状態が長く続く病気です。血液中のクレアチニン値から計算される腎臓の血液を濾過する能力を示す推定糸球体濾過量(eGFR)が60ml未満の状態が3か月以上続いたときに診断されます。慢性腎臓病は自覚症状が出にくく、実際に症状が現れるのはかなり悪化してからになるため、早期発見には健康診断でのクレアチニン測定や尿検査が欠かせません。原因の多くが糖尿病や高血圧などの生活習慣病であることから、血糖や血圧を整え腎臓病の進行を遅くするほか、心血管疾患を予防し、健康寿命を伸ばすことを目標に治療を進めていきます。



Q

教育入院とはどのようなことをするのでしょ

A

血液検査や尿検査など慢性腎臓病の検査や、心臓や腹部の超音波検査、骨密度測定を実施し、適切な治療や予防につなげます。クイズ形式で楽しく腎不全の正しい知識を身につけたり、オーダーメイドのプログラムで運動や栄養の指導も行います。

Q

対象となる人を教えてください

A

病初期や軽症の方はもちろん進行した方にもとても有効ですので、症状にかかわらず広くご利用いただきたいです。悪化している患者さんには透析の開始をできるだけ遅らせるように調整するとともに、透析についての説明もしていきます。

Q

教育入院を受けるにはどうすればよいでしょうか？

A

紹介状がなくてもご利用いただけますが、基本的にはかかりつけのクリニックや、院内の主治医を通じて腎臓内科にお越しください。月・火・水・金曜日に初診外来を開設していますので、まずは気軽に受診していただければと思います。

Message

当院では、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーがチームになって、患者さん一人ひとりに合った療養計画を考えています。私たちは透析開始をなるべく遅らせると同時に、透析をしながらでも元気に過ごすこともめざしています。実際に透析を受けながら、年齢にかかわらず元気に活動されている方がたくさんいらっしゃいます。当院の教育入院を受けた方からは「受けてよかった」とのお声もいただいています。どうぞご利用ください。

腎臓内科部長 瀧 康洋



稲城市立病院
INAGI Municipal Hospital



Q&Aでわかる!稲城市立病院の「役割」や「選定療養費」って?

信頼とぬくもりのある 医療を提供します



Q1 紹介状がないと診てもらえないの?

A

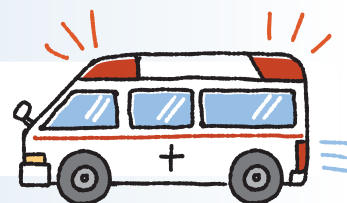
紹介状がない場合でも**診療をお断りすることはありません。**
ただし、制度上、選定療養費が発生する場合があります。



Q2 救急の時も7700円が必要なの?

A

原則、**救急診療は対象外です。**
緊急性の高いケースでは選定療養費は不要です。



Q3 選定療養費ってなんのためにあるの?

A

専門病院と地域医療の役割分担のためです。
軽症の方にはまず地域のクリニックを受診して
いただくことで、重症・専門的な治療を行う稲城市立病院の
医療資源を有効に活用することができます。

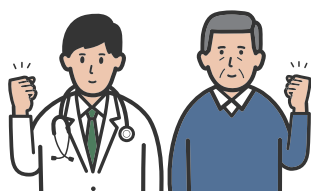
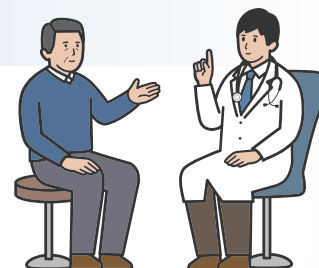


Q4 紹介状がないと誰でも7700円かかるの?

A

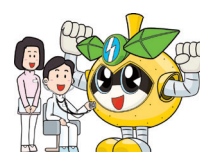
次のような方は対象外です。(※事例の一部です)

- 外来受診から継続して入院された方
- 当院にかかりつけの患者さん(他科受診者含む)
- 障害者医療など公費負担医療制度の対象の方



稲城市立病院は地域医療の支えとなる病院です

稲城市立病院は皆様の拠り所となるべき総合病院です。
専門的で高度な医療を、必要なときに、必要な人へ提供します。
選定療養費がかかるのかご不明な時はお問い合わせください。



©K.Okawara・Jet Inoue



稲城市立病院
INAGI Municipal Hospital

〒206-0801 東京都稲城市大丸1171番地 TEL.042-377-0931 (代表)

初診受付 平日8:00~11:00

専門受付 平日13:00~15:00 (完全予約制)

再来受付 平日8:00~11:30

休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)



ホームページ